

1 海にしずんだクジラ



- ① メリッサ・スチュアート/文
ロブ・ダンラヴィ/絵
千葉 茂樹/訳
- ② B L 出版
- ③ 1800円
- ④ E

一頭のクジラが死を迎え、32トンもの巨体が、1,500メートルの深海にゆっくりと沈んでいきます。このクジラの死骸は、深海でひっそりくらす生きものたち（^{げいこつせいぶつぐんしゅう}鯨骨生物群集）の命を50年もの長い間、支えてくれるのです。深海の生物の生態と命の循環を教えてくれる絵本です。

2 おしえてくれる？わたしのなまえ



- ① ナイジェル・グレイ/文
ベサン・ウェルビー/絵
もりうち すみこ/訳
- ② ゴブリン書房
- ③ 1600円
- ④ E

グレースは、お母さんが焼いたケーキをお隣のフィリスさんに持って行きます。物の名前や出来事を思い出したり、忘れたりするフィリスさん。おばあさんと孫のような年齢差の二人に、いつしか友情が芽生えます。認知症や人と人との温かいつながりについて教えてくれる絵本です。

3 化石のよぶ声がきこえる 天才恐竜ハンター ウェンディ・スロボーダ



- ① ヘレイン・ベッカー/作
サンドラ・デュメイ/絵
木村 由莉/訳・監修
- ② くもん出版
- ③ 1600円
- ④ E

カナダに住む少女ウェンディは、12歳の時に遠足で見つけたサンゴの化石をきっかけに、恐竜のたまごの化石、そして、白亜紀を生きた恐竜の化石「ウェンディケラトプス」を世界ではじめて発掘しました。女性恐竜ハンター、ウェンディ・スロボーダの半生を描いた伝記絵本です。

4 聞いて聞いて！音と耳のはなし



- ① 高津 修/文
遠藤 義人/文
長崎 訓子/絵
- ② 福音館書店
- ③ 1600円
- ④ E

赤ちゃんのなき声、たいこの音、虫の音。低い音、高い音、大きな音、小さな音。私たちの身近にあるいろいろな「音」には、どのような種類があるのでしょうか。そして、音を聞く「耳」はどのような仕組みになっているのでしょうか。音と耳についての楽しい学び絵本です。

5 木になろう！ かたりあい、ささえあう



- ① マリア・ジャンフェラーリ/ぶん
フェリシタ・サラ/え
ひさやま たいち/やく
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ E

木は身を守るために大切な情報を知らせ合い、栄養をわけ合い、若い木や弱った木を守っています。根っこの^{きんこんきん}菌根菌をとおして、木々が会話をする事(www=ウッドワードウェア)が分かってきました。木々が生きる仕組みは、人間が生きていく方法も教えてくれます。自然、社会の環境について考えることのできる絵本です。

6 せんそう



- ① エリック・バトゥー/さく
石津 ちひろ/やく
- ② 好学社
- ③ 1800円
- ④ E

赤いお城と青いお城に住む二人の王様はとても仲が良く、住んでいる人たちも仲良しでした。ところが、二人の王様がささいなことでけんかをし、戦争が始まってしまったのです。

戦争のおろかさ、戦争に巻き込まれた住民の悲しさなどを考えさせられる絵本です。

7 トットちゃんの15つぶのだいず



- ① 黒柳 徹子/原案
柏葉 幸子/文
松本 春野/絵
- ② 講談社
- ③ 1600円
- ④ E

トットちゃんが小学2年生のとき、戦争が始まりました。お父さんは戦争へ行き、サイレンが鳴ると防空壕に隠れる日々が続きます。ある日、トットちゃんはお母さんに一日のご飯として、15粒の大豆をもらいます。

小さな女の子の体験から、平和な日常が奪われてしまう“戦争”について考えるお話です。

8 バレエ団のねこピンキー



- ① ノエル・ストレートフィールド/作
スザンヌ・スーバ/絵
田中 潤子/訳
- ② のら書店
- ③ 1400円
- ④ E

黒ねこのピンキーは、バレエが大好きで、バレエ団のすべての演目を知り尽くしています。ネズミとりのために雇われていますが、ネズミが苦手で、役に立つことができません。ある日、舞台を台無しにしたピンキーはやめさせられそうになりますが……。

自分の好きなことをとおして、自分にしかできないことがあると教えてくれるお話です。

9 ぼくのともだちは、あたまにはながさいている



- ① ジャーヴィス/作
まきもり れい/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1600円
- ④ E

「ぼく」のともだちのデイビッドの頭にはきれいな花が咲いています。花びらみたいにふんわりやさしいデイビッドが、ある日帽子をかぶってきました。帽子を取ると花びらがすっかり落ちてしまいます……。

相手の気持ちに気づき、受け止め、寄り添うことを教えてくれる作品です。

10 ものがたりがうまれるとき



- ① デボラ・ホプキンソン/ぶん
ハドリー・フーパー/え
せな あいこ/やく
- ② 評論社
- ③ 1650円
- ④ E

「物語を書こう」と思い立ったはいいいけれど、なかなか言葉が出てこない。新しいものを生み出すのは簡単なことではありません。

でも、あきらめず、粘り強く、何回も見たり聞いたり考えたりすることが、新しい世界を開くために大切だと教えてくれる一冊です。

11 ゆうやけにとけていく



- ① ザ・キャビンカンパニー/作
- ② 小学館
- ③ 1700円
- ④ E

金色に輝く麦畑，小学校のプール，子供たちが遊ぶ公園。夕焼けに包まれる様々な季節や場所などの情景が，短い文と豊かな色彩の絵で表現されています。

ページをめくると，鮮やかな色彩の絵に込められた“物語”を感じるこのことができる絵本です。

12 ようこそこどものけんりのほん



- ① えがしら みちこ/絵
こどもの権利・きもち
プロジェクト/文
- ② 白泉社
- ③ 1300円
- ④ E

「こどもの権利」ってどんなこと？世界中のすべての子供には，人間らしく生きる権利があります。かわいらしいイラストとわかりやすい言葉で権利について紹介しています。

「こどもの権利」をとおして，“人権”についても学ぶことができます。子供の育ちに関わる大人の方にも読んでほしい絵本です。

13 わたしがいじわるオオカミになった日



- ① アメリ・ジャヴォー/ぶん
アニック・マソン/え
ふしみ みさを/やく
- ② パイ インターナショナル
- ③ 1600円
- ④ E

今まで仲良しだったのに，ある日突然オオカミに変身した友達からいじわるをされる主人公のエマ。まわりの子たちは誰も助けてくれません。いつしかエマは，いじめから自分を守るために，加害者になってしまいます……。

いじめについて考える，親子で読んでほしい絵本です。

14 それで、いい！



- ① 磯 みゆき/作
はた こうしろう/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ 91イ022

きつねは，絵を描くのが大好き。しかし，やまねこが，きつねの絵をけなします。きつねは，みんなが驚くようなすごい絵を描くために，“すごいもの”を探していきます。友達のうさぎと一緒に見つけた「すごいもの」や題名の「それで、いい！」について話し合いたくなる本です。

15 2番めにすき



- ① 吉野 万理子/作
高橋 和枝/絵
- ② くもん出版
- ③ 1300円
- ④ 91ヨ022

ねこの学校に通うナッチは，自由気ままなねこ。しかし，転校してきたプリシラが「ベストフレンド」の話をしたときから，何だか落ち着かなくなります。

友達づきあいや友達との距離について，ねこたちの世界の物語が優しく教えてくれます。